

## 秋季大会 打撃好調も終盤粘れず 悔しい初戦敗退

秋季大会1回戦 対 防府高校 (岩国市 キズナスタジアム)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
下松工業	0	0	0	2	0	2	0	0		4
防府	0	1	0	3	1	0	3	3x		11x

※8回コールド

打順	位置	選手名	(学年)	打数	安打	打点	四死球
1	⑥	村野	2	3	1	0	1
2	⑦	安田(晃)	2	4	0	0	0
3	⑤	末岡	1	4	2	0	0
4	③	潮田	2	3	1	0	1
5	⑨	安田(智)	1	4	3	0	0
6	④	奥田(透)	1	3	2	1	1
7	②	寺河内	1	4	1	3	0
8	①	江原	1	2	0	0	0
//	5	井山	2	2	0	0	0
9	⑧	末永	1	2	0	0	0
//	打8	中田	2	1	0	0	0

投手名	(学年)	回	球数	被安打	与四死球	自責点
江原	1	4回1/3	66	4	2	4
末岡	1	3回2/3	48	4	4	6

### 【長打】(二) 末岡

9月10日(土)、令和4年山口県体育大会高校野球競技(硬式)【秋季大会】の地区予選一回戦が岩国市のキズナスタジアムで行われ、本校は第三試合で防府高校と対戦しました。

下松工業は2回表、5番安田(智)と6番奥田(透)の連打で1死1,2塁の好機を作るも、ライナーで併殺となり先制点ならず。その裏、二塁打とワイルドピッチで1死三塁のピンチを招き、続く打者をショートゴロに打ち取る

も、その間に1点の先制点を相手に許した。

追いつきたい本校は4回表、二連打のあと7番寺河内のライトへの適時安打で2点を入れ逆転に成功する。しかしその裏、先発の江原が2死を取った後から2四球と2つの長短打を浴びて3失点、再び2点のリードを許す。更に5回裏には安打と失策が絡み1点を失った。

6回表、先頭3番末岡のライトへの2塁打にはじまり、0死満塁の最大のチャンス。ここで6番奥田(透)がセンター前へ適時安打を放ち1点、その後ショートゴロの間に1点を返すも反撃はここまで。7,8回裏の守備では四球、まずい連携ミスと連打が重なり、それぞれ3失点した。チームは10安打を放つが、4-11で無念の8回コールド負けを喫した。

投げては先発の江原が持ち味の打たせて取るピッチングを発揮したが、中盤に珍しく制球が乱れ5回途中自責点4の投球だった。リリースした末岡は、肘の不調の影響からか調子が上がらず、味方守備の乱れもあって終盤に防府打線につかまった。

悔しく課題の残る大会になったが、「強いチーム」になるためにやるべきことが明確化した。



## この悔しい敗戦を糧に抜本的な意識改革！ 「心」の部分から見つめ直し、冬を越え雪辱を誓う。

秋の大会敗戦後、大会から見たことについてミーティングをしました。練習を積んで野球の技術や能力の向上を図るのはもちろんですが、**野球に向き合う「心」の部分の改革の必要性を認識しました。成果は「練習×心」であり、どんな「心」で野球に向き合うかで大きく変わります。**どのチームより野球への向き合い方を良くし、**ひと冬越えて「強いチーム」**になることをめざします。その中で、**選手は野球人として、そしてひとりの人間として大きく成長してくれると信じています。**



↑行進練習でチームの心を揃え、心を整えてから練習を始める。

### ☆今後の大会・試合日程

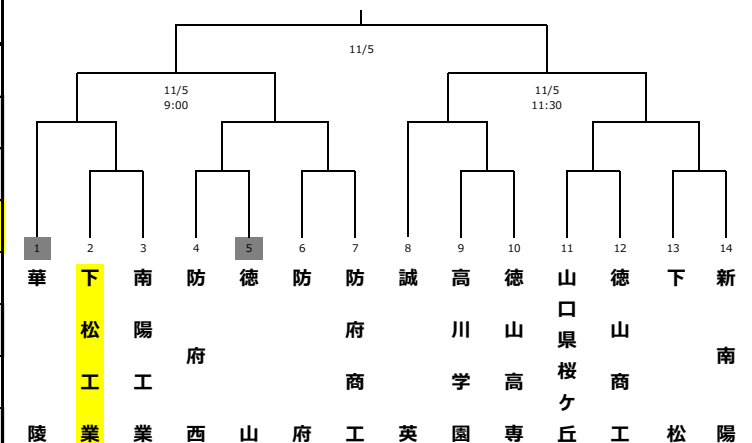
今シーズンの残す大会は、各校の1年生のみが出場する「一年生大会」のみです。本校は10月3日(月)に、一回戦で南陽工業高校と対戦予定です。この大会も全力で、貪欲に勝ちをめざして頑張ってください。応援の程、よろしくお願いいたします。

練習試合計画は以下の通りです。ぜひ、足をお運びください。尚、天候や感染症予防の観点から急遽予定の変更がある場合がございます。予めご了承ください。

#### ●当面の練習試合計画

日付	対戦校	場所
9/17(土)	防府商工 10:00~	防府商工G
9/19(月)	聖光 10:00~	下IG
9/24(土)	徳山商工 10:00~	下IG
10/3(月)	一年生大会一回戦 南陽工 10:00~	南陽IG
10/16(日)	光 10:00~	光G
10/22(土)	小野田 10:00~	下IG
10/23(日)	徳山高専 10:00~	高専G
11/3(木)	お別れ試合(3年)	下IG

#### ●防徳地区1年生大会トーナメント表



試合・練習日程や野球部の活動に関するご質問等は、本校野球部長の河野(かわの)までお問い合わせください。本校の受験を考えている中学3年生は、10月15日(土)の体験入学・部活動見学にぜひご参加ください。